

ご視聴の皆さまへ

- 配信動画および資料の著作権は、横浜市リハビリテーション事業団が保有します。
- 動画および資料の無断転載、複製、転用、販売等の二次利用は、固く禁じます。
- この配信動画は、当センター利用者の保護者の方のみ視聴可能です。
- 第三者に動画および付属資料の URL を拡散することはお控えください。

発達障害の基礎知識 ～主に幼児の方向け版～

横浜市西部地域療育センター
医師

YRS
ユアーズ

きそこうざ、はったつしょうがいのきそちしきをごしちょういただきありがとうございます。ここでは、おもにようじきのおこさんをねんあたまに、はったつせんもんいのたちばかりきほんてきなはなしをかいせついたします。

主な発達障害

ASD（自閉スペクトラム症）

LD（学習障害）

AD/HD（注意欠如多動症）

おもなはったつしょうがいには、ASD、じへいすぺくとらむしょう、LD、がくしゅうしょうがい、ADHD、ちゅういけつじょたどうしょうがあります。
いかにそれぞれかいせついたします。

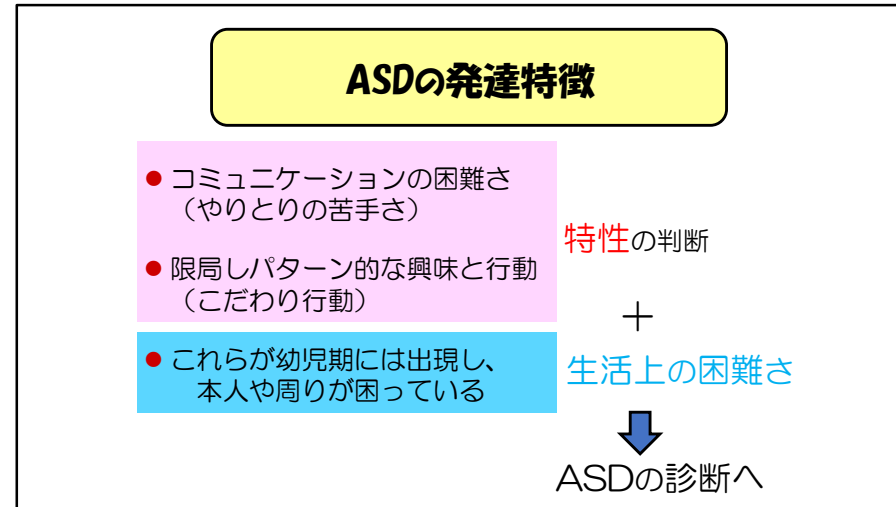
自閉スペクトラム症(ASD)とは？

「脳の機能」に原因がある発達障害

- 脳の病気ではありません
- ミクロなレベルでの脳の違いといわれています



じへいすべくとらむしょう、いかASDとよびますが、いがくてきには「のうのきのう」にげんいんがあるはったつしょうがいのひとつとされます。のうのきのうといっても、のうのびょうきではありません。じっさいに、のうのがぞうけんさなどをくわしくおこなっても、なんともないことがほとんどです。そのため、いがくてきにはASDはのうのびょうきではなくめにはみえないみくろなれべるでののうのちがいとりかいされています。



ASDのはったつじょうのとくちょうはおおきく2つあります。ひとつは、こみゅにけーしょんのこんなんさ、やりとりのにがてさです。これについてはつぎのすらいどでくわしくせつめいします。もうひとつはげんきよくしぱたーんてきなきょうみとこうどうといいますが、こだわりといういいかたでゆうめいです。しんさつでは、おこさんのごようすなどからこれらのとくせいについてはんだんしますが、しんだんするためにはこれらのとくせいがあることでふだんのせいかつでほんにんやまわりがこまっている、つまりせいかつじょうのこんなんがあることがじょうけんとなります。そのため、しんさつでは、しんさつしつのごようすにくわえてふだんどうですか？というせいかつのごようすとしょうごうしたうえでしんだんがおこなわることになります。

コミュニケーションの 質的な困難さ

■ 言葉のコミュニケーション

■ 言葉以外のコミュニケーション

ジェスチャー、表情などのちょっとした仕草、
ことばに込められた意図や感情 など



言葉が遅れているだけとはいえない

さて、ASDのさいだいのとくちょうであ、るこみゅにけーしょんのしつてきなこんなんさについてごせつめいします。ぽいんとは、ASDのとくちょうは、ことばのこみゅにけーしょんつまりかいわだけでなく、ことばいがいのこみゅにけーしょんもこんなんであるということです。ことばいがいのこみゅにけーしょんとは、じえすちゃー、ひょうじょうなどのちょっとしたしぐさ、ことばにこめられたいとやかんじょうなどであり、ことばがおくれているだけとはいえないということです。

限局しパターンのな 興味と行動（こだわり行動）

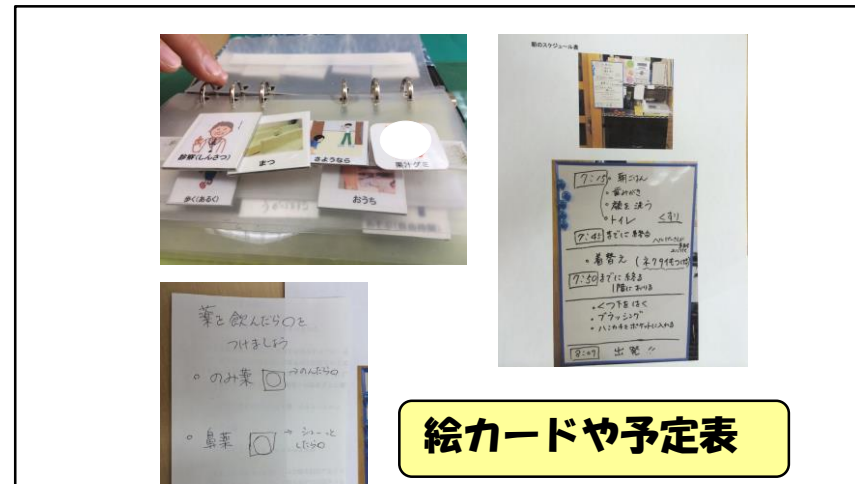
- 興味・関心の幅が狭い（概して深いことが多い）
- 特定の物・手順・遊び方・ルール などのこだわり
- いつまでも同じことを繰り返す
- パターンが変えられると不安、パニック、自傷

ASDのはったつとくちょうの2つめは、こだわりです。せいしきには、げんきよくしばたーんてきなきょうみとこうどうといえます。いっぱんてきにも、ひとにはなんらかのこだわりをもつものでして、いっぱんてきなこだわりとASDのこだわりとどうちがうかという、じつのところはめいかなちがいはないとされます。ただし、ASDのばあいには、いっぱんてきなこだわりのはんいをとびこえてきょうみやかんしんのはばがせまく、がいしてふかいことがおおいです。こだわりにはいろいろあって、でんしゃやかいてんするものなどとくていのものからてじゅん、あそびかた、るーるなどさまざまです。どあをあけたりしめたり、くるくるとかいてんしていたりと、いつまでのおなじことをくりかえしたりします。いちぶのASDのかたは、ぱたーんがかえられるとふあん、ぱにつくからじぶんをたたくといったじしょうにいたるひともいます。

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

ここからは、そのほかのつくちょうとして、ASDのぜんいんにあてはまるわけではありませんが、そだてるうえでぽいんとなりやすいことがらをまとめてあります。ひとつめは、めからはいるじょうほうのほうがみみからはいるじょうほうよりとくい、いわゆるひゃくぶんはいっけんにしかずです。



しかくてきなしょうほうがとくいなばあい、このようなえかどやよていひょうをもちいることで、しょうきょうをよくりかいしててきせつにこうどうをすることができるようになります。

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

2つめのとくちょうは、みとおしがもてないとふあんになりやすいというものです。うらをかえすとふあんがつよいばあいには、みとおしをもたせるようなしえんをするとあんしんしてかつどうできるということです。

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

とくていのかんかくにかびんあるいはにぶいというたいぷのひともいます。

その他の特徴

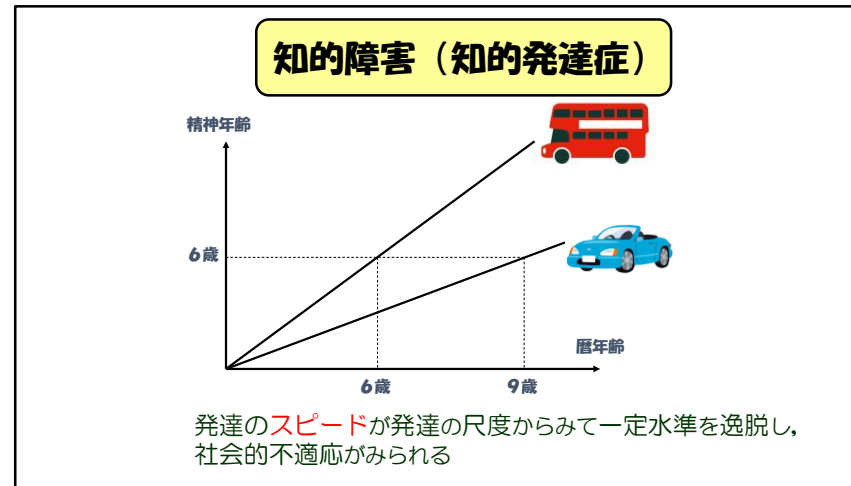
- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残しやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

つぎに、ASDのぜんいんではありませんが、きおくがよいというひともいます。きかいてきなきおくがたけていて、すぐれたのうりょくをはっきすることもあります。いやなきおくがいつまでものこりやすいひともいて、なんねんもまえにあったいやなできごとを、いつまでもせんめいにおぼえてる、おもいだすをついきのうあったできごとのようにりあるにきおくがよみがえってしまい、それがひじょうにふかいというひともいます。

その他の特徴

- 目から入る情報の方が耳から入る情報より得意（「百聞は一見に如かず」）
- 見通しがもてないと不安
- 特定の感覚に過敏あるいは鈍い
- 記憶がよい（嫌な記憶が残りやすいことも）
- 運動が苦手なことがある（手先、バランスなど）

さいごに、うんどうがにがてなことがあります。うんどうは、てさきをつかうようなこまかいうんどうと、ぜんしんをつかうようなおおきなうんどうがあります。とくいというひともいますが、それらがにがてで、がくしゅうやせいかつめんでししょうがでてしまうかたもいます。



ちてきしょうがいというしんだんもあります。ちてきしょうがいは、ちてきはったつしょうともいって、はったつがねんれいにくらべてゆっくりなじょうたいをさします。このえでは、にかいだてばすのように、よこじくのこよみねんれい、つまり6さいのおたんじょうびのときにたてじくのせいしんねんれいも6さいのばあい、ちょうどへいきんてきははったつのすぴーどであるとはんだんされます。それにたいして、おーぷんかーのように、9さいのおたんじょうびのときにたてじくのせいしんねんれいが6さいのばあい、ねんれいにくらべて3さいぶんのおくれがあるとかがえます。にかいだてばすにくらべておーぷんかーははったつがゆっくりというわけです。はったつのすぴーどはつうじょう、はったつのけんさなどをおこないはんだんします。

LD(学習障害)の主症状

話す・聞く



読み・書き



算数



その他, 不器用, ことばの問題, など…

発達全体に遅れがある場合は、知的障害と診断

つぎはLD、がくしゅうしょうがいです。LDは、ぜんたいてきなおくれはないにもかかわらず、はなす・きく、よみかき、さんすうといった、ひとががくしゅうするうえのきそとなるはったつが、とくいてきによわさがあることをさします。

はったつぜんたいにおくれがあるばあいには、LDではなくちてきしょうがいとしんだんされます。

誤解されやすい症状・・・



LDは、たさいながくしゅうにかんれんしたしょうじょうがあり、くわえて「ごかいされやすい」というとくちょうがあります。

ぜんぜんがくしゅうができないというわけではなく、たとえばくらすのなかでいちばんできないというわけではないこともおうおうにしてあります。

いつもせっしているごかぞくやせんせいからみても、

まじめにやっていないのでは？、できそうでできない、できたりできなかつたりする、たんなるけあれすみす、など

わかりにくいところがあってほんにんもまわりもなやんでしまいます。

環境改善的アプローチ



読み書きの習得よりも、授業内容の理解や活動への参加に力点
本人、学校、周囲の理解が導入には必要となる

LDのたいおうは、かんきょうかいぜんてきあぷろーちがぽいんとなります。これは、たぶれっとをどうにゆうしてよみかきのほじょをしたり、けいさんきをせっきょくてきにつかったり、かだいをおこなうじかんをえんちょうするなど、ほんにんをかえるのではなく、かんきょうにはたらきかけるほうほうです。

よみかきのしゅうとくよりも、じゅぎょうないようのりかいやかつどうへのさんかにりきてんをおきます。かんきょうかいぜんてきあぷろーちには、ほんにん、がっこう、しゅういのりかいがひつようになります。

LD診断の意義

- 子どもにあった学習環境を設定できる。
- 子どもの周囲，特に保護者と教師が子どものよき理解者となることができる。
- 不安やイライラなど、二次障害を最小限に抑える。

診断および、詳しい評価は小学生になってから

LDしんだんのいぎは、こどもにあったがくしゅうかんきょうをせっていることで、かんきょうかいぜんてきあぶろーちをすすめやすくなります。

また、ごかいされやすいしょうじょうであるLDにたいして、こどものしゅうい、とくにほごしゃさんときょうしがこどものよきりかいしゃとなることができます。

それにより、ふあんやいらいらなどの、にじしょうがいとよばれるしょうじょうを、さいしょうげんにおさえることができます。

なお、LDのしんだんおよびそのためのくわしいひょうかは、なかなかふくざつでむずかしいため、しょうがくせい、おこさんにもよりますがしょうがく3ねんせいいこうになってからかのうとなります。

AD/HD（注意欠如多動症）

- Attention Deficit/Hyperactivity Disorder
- 不注意・多動性・衝動性の3つの行動を認める

さいごにADHD、ちゅういけつじょたどうしょうです。えいごのかしらもじをとってADHDとよんでいます。
ふちゅうい、たどうせい、しょうどうせいの3つのこうどうをみとめます。

活発？好奇心？

小学校2年生 男の子

幼児期はとにかくたえず動き回る子であった。小学校に入り、なんとか着席しているものの、足をモジモジさせ落ち着きがない。授業中も注意が散漫になってしまう。本人も、なぜ他の子のように自分がうまくできないのか悩んでいる。



ADHDのおこさんのれいです。ようじきはとにかくたえずうごきまわるこであった。しょうがっこうにはいり、なんとかちゃくせきしているものの、あしをもじもじさせおちつきがない。じゅぎょうちゅうもいろいろなことがきになってしまい、ちゅういがさんまんになってしまう。ほんにんも、なぜ、ほかのこのようにじぶんがうまくできないのかなやんでいる。

AD/HD（注意欠如多動症）

■ 不注意・多動性・衝動性の3つの行動を認める

12歳以前に症状の存在
6ヶ月間以上の症状持続
学校と家庭など、2箇所以上で症状が存在

確定診断は、小学生になってからが多い

ADHDは、ふちゅうい、たどうせい、しょうどうせいの3つのこうどうをみとめますが、それらがあればそくしんだんがつくわけではなく、いっていいじょうのれべるをこえていることがじょうけんになります。それいがいにも、12さいまえからこれらのしょうじょうがあること、6かげついいじょうしょうじょうがじぞくしていること、がっこうとかていなど2かしょいじょうでしょうじょうがそんざいすることなど、いくつかのじょうけんがあります。これらのきじゅんがあるため、ようじきにはかくていしんだんがつきににくく、しょうがっこうにあがってからしんだんがつくことがおおいです。

多動…それは曖昧な概念

AD/HDの多動



不安



あせ
焦り



イライラ



にんげんはさまざまなしょうきょうでこうどうがおちつかなくなるものです。
ADHDのたどうは、ぜんまいでうごくおもちゃのようないめーじで、からだがかってにうごいてしまいます。
それにたいして、きもちがあせったり、ふあんになったり、いらいらするときにおちつかなくなるばあいは、
ADHDとはべつのものとかんがえており、たいおうほうもかわってきます。
たどう＝ADHDではなく、たどうのげんいんをさぐる、というしてんがだいじになってきます。

診断の意味

- 発達障害の特性をふまえた育て方のコツを知る
キーワード
- 今すべきこと、今ががんばらなくていいことの
整理がしやすくなる
- 発達支援に必要なサービスに
つながりやすくなる



はったつしょうがいのしんだんは、れってるをはるためのものではなく、はったつしょうがいのとくせいをもつこどものそだてかたのこつをしるきーわーどとしてしんだんをおこなうものです。しんだんによって、いますべきことをせんめいにして、ぎゃくにいまががんばらなくていいことをせいりすることにもやくだちます。しゅうだんばめんでどのようなしえんをおこなったらよいかなど、しんだんがあることでそのこにあわせたはったつしえんにひつようなさーびすにつながりやすくなります。



こそだてのきほんてきなかんがえかたは、つよみをいかすというかんがえかたです。にがてなところをできるようにするにはどうしたらいいか、というかんがえかたもじゅうようではありますが、そのしてんだけだと、たちまちどんつまってしまうことがおおいです。これはわれわれのせんもんであるりょういくのぶんやでもどうようで、なにかいさせるこのこのつよみはないかなと、さぐることがりょういくのもくてきにもなります。

**(特に幼児期) 苦手なことは
“とりあえず後回し”くらいが丁度よい**

- 狙ってできるようになるものではない。
- そのうちにできることも。
- “やらせる”ことで、生活・情緒面の不安定につながることも。



どんなことは今はやらなくていいのか、
個々に相談することができます。



とくにようじきは、にがてなことは「とりあえずあとまわし」くらいにおもっていたほうがおやとしてちょうどいいようにおもいます。そもそもねらってできるようになるものではなく、といれやしよくじなどにおおいですがそうこうしているうちにそのうちにできることもあります。おいしゃさんてきには、むりにやらせることでにがていしきがつよまったり、せいかつやじょうちょめんでのふあんていさにつながることもあるのでちゅういがひつようです。このあたりはこべつせいがたかいので、どんなことはいまはがんばってやらなくてもいいのか、ここにそうだんすることができますのですたっふなどにしつもんしてみてください。

月 火 水 木 金 土 日・・・



その●●は役に立つのか？

2025/5/20

げんだいは、りようしようとおもえばいろいろなはったつにかんするさーびすがあります。なにもなかったむかしにくらべてさーびすがひろがったことじたいはよいこととおもいますが、そのために、げつようはここにいてこういうことをする、かようはまたべつのところにいてこういうことをする、というようにさまざまなことをつめこむと、それになれるのにせいいっぱいとなって、こうかてきなそだちにつながらなかったり、おやこでひへいしてしまってもともこもない、ということにおちいるばあいもありちゅういがひつようです。

普遍的な万能薬というものはない

P.ハウリン (2003)



<https://www.kcl.ac.uk/people/patricia-howlin>より引用

その●●は役に立つのか？

また、いろいろなさーびすのなかには、「これをやっておけばだいじょうぶ」みたいにだんげんをするようなこ
うこくもあり、それにもちゅういがひつようです。ASDのせんもんかであるいぎりすのはうりんというひとは、
「ふへんてきなばんのうやくというものはない」とのべました。つまり、ASDのこどもはひじょうにたようでひ
とりひとりちがいますから、そのこにあわせたはったつしえんのやりかたをかんがえるひつようがあるというこ
とです。

**苦手さと持ち味は
周りの見方次第ともいえる**

融通がきかない	⇔	妥協をしない
周りにあわせられない	⇔	一本気で筋を通す
うそがわからない	⇔	オモテウラがない、 信用できる正直者
強いこだわり	⇔	深い知識、豊かな趣味
変わったヤツ	⇔	面白い魅力人、 〇〇博士

また、にがてさともちあじはひょうりといったのところがあります。そのため、ひだりがわにあるようなねがていぶでにがてなことも、ASDのばあいはそのをなにかにいかせるもちあじにならないかとおもってみてあげると、それがじっさいにほんにんのつよみとしてはっきされるということがあります。



もちあじをいかすといっても、それはほんかくてきにはしょうがくせいいこうです。ようじきはそのためのはったつのどだいをつくっていきます。とくに、ことばやしゅうだんかつどうがにがてなおこさんがおおいなか、まずは「ほんにんがわかるものをみつける」ということをじゅうししておきたいところです。これはそのいちれいで、くうかんというめにみえないものをしきりをもちいるなどしてみえるかするくうかんのこうぞうか、とよばれるりょういくです。こどもたちは、あそぶところとさぎょうやべんきょうするところがはっきりわかり、じはつてきにこうどうをとりやすくなります。

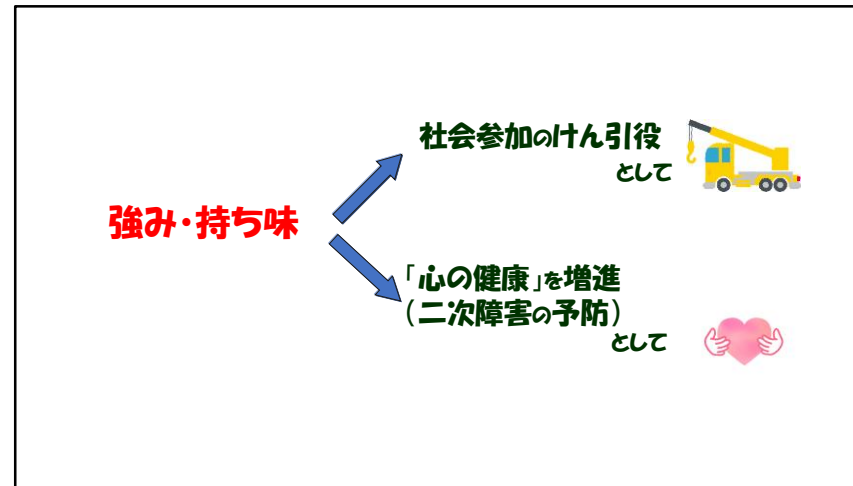
**本人が「わかるもの」を見つける
絵カードを使ったおしたく**



おなじく、えカードをもちいることでひとつひとついわれなくてもおしたくをすることができます。このような
ほうほうによって、せいかつにそくしたことばをまなんでいくことにもつながります。



このようにえかーどなどを持ちいたしかくてきくふうは、こみゅにけーしょんをそだてるうえでゆうようですが、ひとつちゅういてんがあります。いつしか、みとこうもんのごいんろうのように、このかーどをみせればいわれたとおりにならうとおもいこんでしまうことです。これまでみてきたように、しかくてきくふうは、ほんにんがみとおしをもってせいかつし、じぶんではんだんするじりつせいをはぐくむためのものであり、おもいどおりにならうとめいれいにつかうためのものではありません。いっしょうけんめいにならううちに、いつしかなにならうてはいけないという×マークがおおくなることあるのようちゅういです。



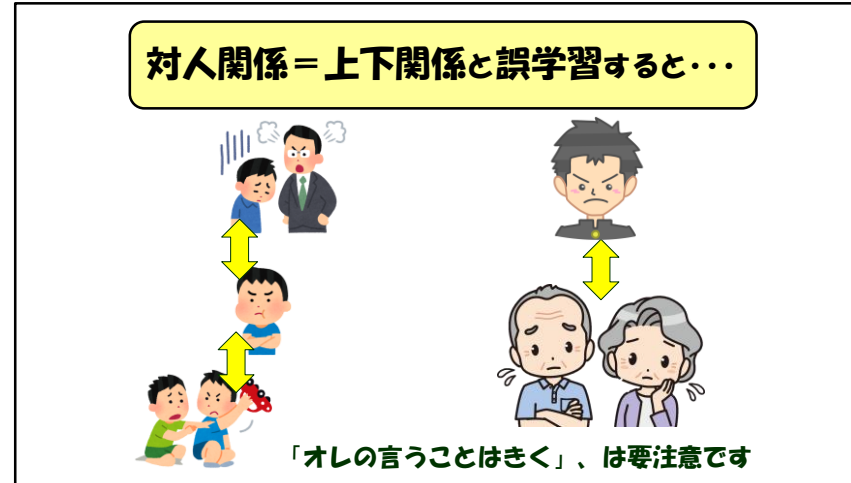
おこさんのつよみやもちあじをみつけていくこともだいじです。こどもがちいさいうちは、なかなかつよみやみ
つかりにくいかもしれませんが、つよみやもちあじがあると、ようちえんやほいくえん、がっこうなどしゃかい
さんかのけんいんやくをになってくれたり、ひいてはこころのけんこうをぞうしんすることにもつながります。

叱り方のコツ

- シンプル *is* ベスト
- 視覚的にかかわるくせをつける
(言葉かけを多用しない)
- 「ダメ」だけではなく、肯定形で伝える
- 周囲が一環した対応を心がける

「叱る」のもコミュニケーションの一つですね！

こどもをどのようにしかったらよいか、よくしつもんをいただきますが、まずわるぎがないばあいにはしかってもぴんときず、つぎにつながらないため、いまはしかたないとわりきり、あぶなくないことであればしかりすぎないようにこころがけたいです。しかるさいには、かんけつにできるだけみじかくつたえます。いちどでわからせようとくどくどはなしてしまうと、なにがなんだかわからなくなってまなびにつながりません。みじかくつたえるコツとして、しかくてきにかかわるくせをつけたり、「だめ」だけではなくこうていかたちでつたえるようにしましょう。たとえば、あるときはOKだけどあるときはだめとなったり、おかあさんはOKだけどおとうさんはだめだったりすると、こどもからするとたいおうがいかんしないためこんらんしてしまいます。なにをOKとしてなにをだめとするか、しゅういがいかんしたたいおうをこころがけるようにしましょう。そうじていえば、しかるのもこみゅにけーしょんのひとつということです。



しかりかたでとくにきをつけたいことがあります。おとながつよくしかると、どうしてもじょうげかんけいがうまれてしまいます。おとながうえ、こどもがした、というこうずです。そのさいに、ASDタイプのこどものなかには、よのなかのたいじんかんけいがすべてじょうげかんけいでなりたっているとあやまってがくしゅうしてしまうことがあります。すると、あいてがじぶんよりもつよいとはんだんしたばあいには、そのあいてにしたがいますが、じぶんよりもよわいとはんだんしたばあいには、したがわずにかえってあいてをむりにでもしたがわせようとして、かえってもんだいがおおきくなるのです。おやこのあいだでじょうげかんけいをまなんでしまうと、おおきくなっていつかじぶんがつよくなったときに、おやのいうことにはまったくしたがわなくなってしまうこともあるため、ちいさいうちからつよくしかることをしすぎないほうがぶなんです。

集団活動で社会性の土台を身に付けていく

- 幼児期の基本は、**安心感**の提供。
無理に周囲に合わせることを強要することで、
「友だちといえるのっていやだな」とならないように！
- うまくいったという体験を通して社会的行動を学ぶ

ようじきはしゅうだんかつどうでしゃかいせいのどだいをみにつけていきます。そのさいに、ようじきのきほんとなるのは、あんしんかんのていきょうです。

さいしょからむりにしゅういにあわせることをきょうようすることで、
ともだちといえるのっていやだなとならないようにすることがじゅうようです。

いざこざやけんかからにんげんかんけいをまなぶというはっそうは、おこさんのたいぶによってはぎゃくこうかとなるため、

うまくいったというたいけんをとおしてしゃかいてきこうどうをまなぶことをころがけましょう。

いじょうで、きそこうざをおわります。ごしちょういただき、どうもありがとうございました。